

プロフィール



指揮・司会 堀 俊輔

1950年寅年、タイガースの町大阪で生まれました。小さい時から音楽は好きでしたが、小中学生の頃は、むしろ野球や相撲に熱中するスポーツ少年でした。勉強はまずまずといったところ。映画をたくさん観ました。本当に楽しかった。将来は人を楽しませる仕事をしたいなと思ったものです。早稲田大学で英文学の勉強をした後、東京藝術大学で作曲と指揮を学びました。卒業後は全国のオーケストラを指揮し、時々外国のオーケストラも振っています。自ら司会を務める神奈川フィルとのコンサートは全国の小中学生に大好評。エッセイストとしても人気者。A型、ふたご座。好物は麺類。皆さんは？



指揮・司会 和田 一樹

東京都出身。尚美学園大学作曲コース、東京音楽大学指揮科を卒業しました。フジテレビ系ドラマ「のためカンターピレ」では玉木宏、竹中直人に指揮指導をし、のためオーケストラではオーケストラの指揮をするなど、メディアでの活躍も多く、クラシックの魅力を紹介しています。これまでに広島交響楽団、東京混声合唱団をはじめ、ジョルジュエネスコフィルなど国内外で指揮活動を行っており、2017年にはヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団より「最年少最優秀客演指揮者」の称号をいただきました。



管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

神奈川フィルハーモニー管弦楽団は神奈川県内の音楽家たちが集まり、1970年に創設されました。『フィルハーモニー』とは『音楽を愛する』という意味で、現在約70名のメンバーが毎年100公演以上の演奏会に出演し、多くの人々に感動を与えています。横浜みなとみらいホールで行われる定期演奏会のほか、ポップスコンサートや映画音楽コンサート、オペラやバレエなどへの出演やCDの録音などいろいろなジャンルで演奏しています。1989年には『神奈川文化賞』、2007年には『NHK地域放送文化賞』、『横浜文化賞』を受賞し、まさに“神奈川の文化のシンボル”として最近では県内ばかりではなく全国へと活動の場を広げています。

【本公演日程】

実施月日	曜日	都道府県政令指定都市	実施校	会場	開始時間	実施校以外の地元主催者
11月 5日	火	大阪府	寝屋川市立北小学校	同 体育館	13:45	大阪府、大阪府教育庁、寝屋川市教育委員会
11月 6日	水	大阪市	大阪市立榎並小学校	同 体育館	13:30	大阪市教育委員会
11月 7日	木	大阪市	大阪市立巽小学校	同 体育館	14:00	大阪市教育委員会
11月 8日	金	堺市	堺市立安井小学校	同 体育館	13:45	堺市教育委員会
11月25日	月	大阪府	貝塚市立津田小学校	同 体育館	14:00	大阪府、大阪府教育庁、貝塚市教育委員会
11月26日	火	和歌山県	橋本市立橋本小学校	同 体育館	13:30	和歌山県教育委員会、橋本市教育委員会
11月27日	水	和歌山県	有田川町立御霊小学校	同 体育館	13:30	和歌山県教育委員会、有田川町教育委員会
11月28日	木	和歌山県	かつらぎ町立笠田小学校	同 体育館	14:00	和歌山県教育委員会、かつらぎ町教育委員会
11月29日	金	和歌山県	岩出市立岩出小学校	同 体育館	13:20	和歌山県教育委員会、岩出市教育委員会

知ってますか？ ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度

文化芸術による 子供育成総合事業

— 巡回公演事業 —



神奈川フィルハーモニー管弦楽団

オーケストラ公演

「文化芸術による子供育成総合事業」

— 巡回公演事業 —

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

出演者

指揮・司会

ほり 俊輔

11/5(火)~11/8(金)

わだ かずき 和 一樹

11/25(月)~11/29(金)

管弦楽

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

曲目

ビゼー／歌劇「カルメン」より「前奏曲」

ビゼー／「アルルの女」第2組曲より「ファランドール」

楽器のお話



レオポルド・モーツァルト／「おもちゃの交響曲」より第2楽章(小学校公演)

ケテルビー／ペルシャの市場にて(小学校選択制)

エルガー／行進曲「威風堂々」より第1番(小学校選択制)

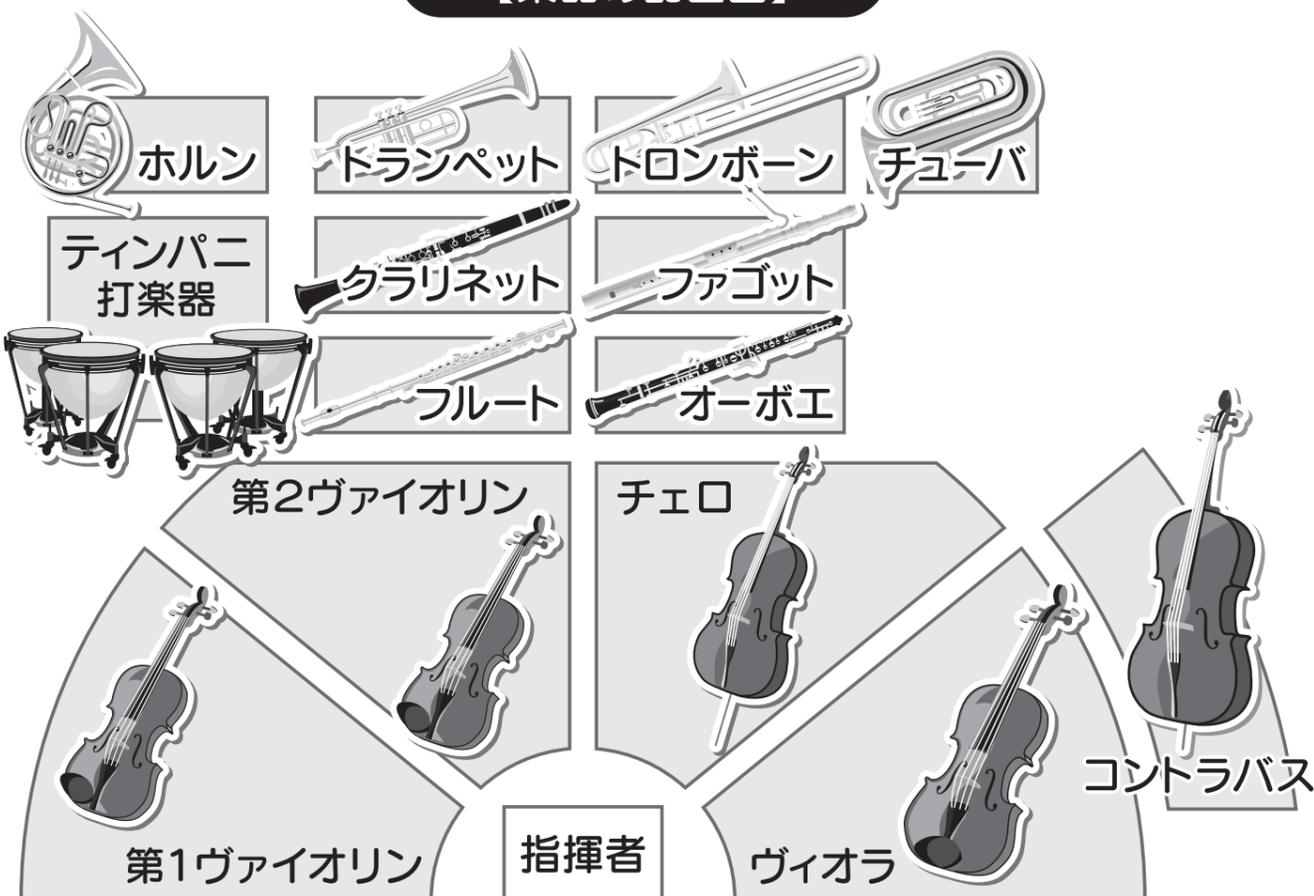
ロジャース／サウンド・オブ・ミュージック・メドレー(中学校公演)

【全員合唱】「私たちだけの合唱曲」

シベリウス／交響詩「フィンランディア」(選択制)

ヴェルディ／歌劇「アイダ」より「凱進行進曲」(選択制)

楽器の配置図



曲目解説

◆ビゼー／歌劇「カルメン」より「前奏曲」

フランスが生んだ天才作曲家ビゼーの傑作「カルメン」は、おそらく古今のあらゆる歌劇の中で、最も人気のある作品の1つと言えるでしょう。この「前奏曲」は中間部で有名な「闘牛士の歌(トリアドール)」の旋律が力強く奏でられるエネルギッシュな曲で、演奏会のアンコールなどでもよく演奏されます。

◆ビゼー／「アルルの女」第2組曲より「ファランドール」

「カルメン」とともにビゼーの代表作として知られる劇付随音楽「アルルの女」。「ファランドール」は、その第3幕で演奏される有名な曲です。3人の王様の行進を表した旋律で始まり、いったん静かになった後、軽快な太鼓のリズムによるファランドールの踊りでだんだん盛り上がり、最後は華やかなクライマックスを迎えます。オーケストラの迫力ある響きの魅力を存分に実感させてくれる1曲です。

◆楽器のお話

オーケストラには、いろいろな楽器が使われていますが、大きく4つのグループに分けることができます。

弦楽器……糸のような弦を弓でこすったり、指ではじいて音を出します。

木管楽器……おもに木で作られた笛の仲間。息を吹き入れて音を出します。

金管楽器……金属でできたラッパの仲間です。唇の振動を楽器に伝えて音を出します。

打楽器……動物の皮を張った太鼓や、シンバル、トライアングル、木琴などたたいて音を出す楽器です。

◆レオポルド・モーツァルト／「おもちゃの交響曲」より第2楽章(小学校公演)

レオポルド・モーツァルトは天才作曲家として有名なヴォルフガング・モーツァルトの父親で、彼自身も多くの作品を作曲し、またすぐれたヴァイオリン教師として有名でした。

「おもちゃの交響曲」と名づけられたこの曲は、普通はオーケストラで使われないカッコウ笛などのおもちゃが、弦楽器の伴奏でオーケストラと一緒に楽しく演奏できるように工夫されています。

◆ケテルビー／ペルシャの市場にて(小学校選択制)

イギリスの作曲家、ケテルビーの作品のなかで最も有名なこの曲には「情景的間奏曲」という副題がつけられています。内容は、ラクダに乗った物売りの行列、市場の人々の合唱、姫君の登場、街頭の手品師やへび使い、さらには王様カリフの行進風景などペルシャの市場に見られるさまざまな情景が、東洋風のメロディとともに色あざやかに描かれています。

◆エルガー／行進曲「威風堂々」より第1番(小学校選択制)

全部で6曲から構成され、第1番から第4番は1901年から1907年までに作曲されました。日本では単に「威風堂々」と言った場合は第1番あるいはその中間部の旋律を指すことが多いです。イギリスでは、この中間部の旋律は「希望と栄光の国」と題され、第2の国歌として愛唱されています。

◆ロジャース／サウンド・オブ・ミュージック・メドレー(中学校公演)

「ドレミの歌」をはじめ、「私のお気に入り」「エーデルワイス」など、数々の名曲を生んだミュージカルの傑作「サウンド・オブ・ミュージック」から耳になじんだ曲ばかりを集め、吹奏楽部の皆さんと一緒にメドレーで演奏します。

◆全員合唱／私たちだけの合唱曲

本日の演奏会のクライマックス、皆さんが力を合わせて作った世界にひとつだけのオリジナルソングです。今回のために特別にオーケストラ伴奏を用意しました。これまでの練習の成果を存分に発揮して、オーケストラに負けないよう、思いっきり歌いましょう!

◆シベリウス／交響詩「フィンランディア」(選択制)

北欧フィンランドを代表する作曲家シベリウスの作品の中で最も有名な曲です。シベリウスが作曲活動を始めた頃のフィンランドは、当時のロシア皇帝による圧制を受けていました。そのような状況で1900年に作曲されたこの作品は、題名そのものがフィンランドを指しているように、シベリウスによる祖国賛歌であるといえます。曲は大変重苦しい雰囲気始まり、苦難に立ち向かうような部分を経て、力強く盛り上がりつつ終わります。

◆ヴェルディ／歌劇「アイダ」より「凱進行進曲」(選択制)

「アイダ行進曲(凱進行進曲)」は、ヴェルディ作曲の歌劇「アイダ」の劇中歌です。舞台は古代エジプト。この曲ではエチオピア軍に勝利したエジプト軍のラダメス将軍が軍勢を率いて凱旋するシーン(第2幕)で登場します。

ここでトランペットによって演奏される旋律は、サッカーの応援歌やテレビCM等に用いられています。実際のオペラでは通常のトランペットよりも長いアイダ・トランペットを使用しますが、今回はモダントランペットにより演奏しています。